

公益信託 農林中金 80 周年森林再生基金

平成 18 年度 助成金交付申請書 記載要領

- ※ 当基金の一次申請は本申請書を中心に審査します。
- ※ 助成金交付申請書は、フォント(MS 明朝、10.5p)・文字数(40 字 40 行)・表(行の高さ、列幅)など指定の書式を変更せずに記入してください。

<記載項目>

住所・団体名・代表者名・申請者名等

1. 事業運営体制および活動実績・理念
 - ※直近の事業報告書・財務資料等関係資料があれば別途添付してください。
 - ※申請された事業を遂行するに際し、十分な事業運営が可能か参考とします。
2. 団体名・県名
 - ※申請された団体名および県名を記入してください。
3. 事業名
 - ※事業内容をふまえた簡潔な事業名を記入してください。
4. 事業目的（コンセプト）
 - ※地域や事業対象地の状況・問題点・事業の必要性などを記入してください。
5. 事業内容（概要）
 - ※本件助成に際し、計画中の事業および事業対象地について記入してください。
 - ※上記の事業を実施するにあたり、経費や単価の算出で特に留意した点(低コスト化など)を記入して下さい。
6. 森づくりのビジョンと本事業の位置付け
 - ※森づくりの中長期的な計画と、その達成のために本事業の中で具体的に実行すべき作業または活動について述べてください。
 - ※その計画の中で、公益性および創造性が特に高い取り組み、参考とする先進事例、施業方法および専門家からのアドバイス等があれば記入してください。
 - ※公益性を示す例として、施業対象となる森林の整備が危急であること、長期契約を結ぶ森林所有者数や事業面積が適正な規模であること、または協同組合・地元住民・ボランティア・行政等との連携が緊密であることなどが挙げられます。
 - ※創造性とは、ビジネスモデルの確立による事業の持続性や林業・木材産業に対する影響力、または新規性などを指します。
7. 本事業実施による波及効果
 - ※次年度以降の効果の拡大について具体的な数字も踏まえて記入してください。
8. 事業対象地とハード事業の内容
 - ※事業対象地の所在地等の項目を(1)事業対象地の森林に書いてください。次に、(2)事業実施箇所ごとの森林現況とハード事業の内容に、事業実施箇所の森林現況と、各作業内容を記入してください。また、間伐率・搬出率等の作業内容がわかる仕様や数値などを加えてください。(記載例 1 参照)

9. ソフト事業の内容

※本事業の中のうち、ソフト事業としての取り組みについて書いてください。(記載例1参照)

10. 施業カレンダー

※平成 19 年度に予定しているハード・ソフト事業のそれぞれの計画および実施計画を、施業カレンダーに図示してください。(記載例1参照)

11. 事業費・助成金

※ハード・ソフト事業にかかる経費、助成金以外の収入および本件助成金額を算出根拠とともに計算してください。(記載例2参照)

※算出根拠の単位が指定されていない項目に関しては、新たに単位を記入してください。

12. 写真

※施業実施箇所の写真のうち、事業の背景や必要性がわかるような代表的なものを数点添付してください。空欄にはその写真の説明を加えてください。

<必要書類>

- ・法人登記簿謄本(全部事項証明書)写し可
- ・直近の事業報告書・財務資料等

<添付資料>

- ・事業対象地全体がわかる位置図上に事業実施箇所等を示した図面(A4縦またはA3横1枚)
- ・その他

< 記載例 1 >

平成 19 年度

8. 事業対象地とハード事業の内容

(1) 事業対象地の森林

所在地	面積 ha	森林所有者数
○県○郡○町○大字○○～△△番地、××番地	150.00ha	80人

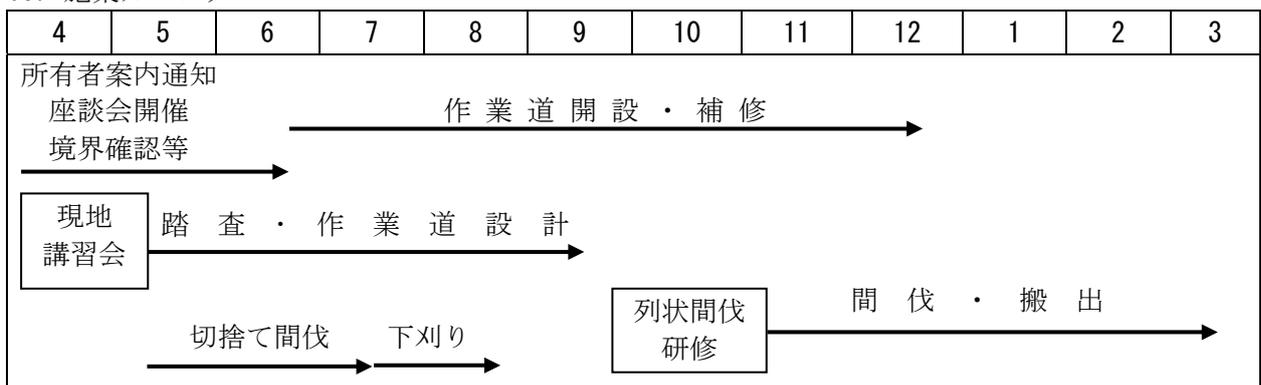
(2) 事業実施箇所ごとの森林現況とハード事業の内容

番号	区域面積 ha	樹種・林齢(齢級)	面積 ha	ハード事業の内容
1	100.00	ヒノキ 1～2 齢級	10.00	下刈りヒノキ 1～2 齢級 10ha 切捨て間伐ヒノキ 5 齢級 20ha 3 残 1 伐列状間伐スギ 8～9 齢級 15ha 搬出材積 900m ³ [間伐率 30% (支障木含む) 搬出率 60% 推定材積 60m ³ /ha]
		ヒノキ 5 齢級	20.00	
		スギ 8 齢級	25.00	
		スギ 9 齢級	15.00	
		天然広葉樹	30.00	
2	50.00	ヒノキ 5 齢級	10.00	切捨て間伐ヒノキ 5 齢級 10ha 定性間伐スギ 10～12 齢級 25ha 搬出材積 1,500m ³ [間伐率 25% (支障木含む) 搬出率 70% 推定材積 60m ³ /ha]
		スギ 10～12 齢級	25.00	
		天然広葉樹	15.00	
3	150.00	(全域)		作業道開設 6,000m・補修 600m (幅員 3.0m 以下)

9. ソフト事業の内容

所有者案内通知・座談会開催：不在村者を含むスギ・ヒノキ人工林所有者 60 人を対象に、案内の通知および座談会の開催を通じて、長期の施業委託契約を締結する。
境界確認等調査：施業計画の取りまとめを図るために、境界確認等の調査を実施して施業集約化の計画を策定する。
現地講習会：施業集約化・ハード事業の達成を目的として、講師を招いた現地講習会を開催する。

10. 施業カレンダー



<記載例2>

平成19年度

11. 事業費・助成金

		費用・収入等	算出根拠	単位
ハ ー ド 事 業 経 費	選木費	960,000	2,400m ³ ×¥400	円/m ³
	伐出費	9,600,000	2,400m ³ ×¥4,000(伐倒造材)3,000(運材)1,000	円/m ³
	運搬費	4,800,000	2,400m ³ ×¥2,000	円/m ³
	作業道開設費	9,180,000	(開設)6,000m×¥1,500 (補修)600m×¥300	円/m
	造林保育費1	3,000,000	(切捨て)30ha×¥100,000	円/ha
	造林保育費2	1,100,000	(下刈り)10ha×¥110,000	円/ha
	小計①	28,640,000		
ソ フ ト 事 業 経 費	境界等調査費	3,150,000	105ha×¥30,000	円/ha
	座談会関係費	200,000	(座談会)2回×70,000 (案内通知等)60,000	円/回
	講習会開催費	200,000	講師旅費・謝金等	
	小計②	3,550,000		
事業費合計③ (①+②)		32,190,000		
助 成 金 以 外 の 収 入	原木販売収入	14,400,000	スギ2,400m ³ ×¥6,000	円/m ³
	その他販売収入			
	補助金	2,050,000	造林補助金1/2助成(造林保育費1・2の1/2)	
	収入小計④	16,450,000		
本件助成金額 (③-④)		15,740,000		
自 己 資 金	列状間伐研修	300,000	3名×研修費用(参加費・旅費)100,000	円/人
	合計	300,000		

※ 本事業の実施に必要で、助成対象外となる経費・物品等があれば自己資金欄に記入してください。